

REGULATIONS



Hotel Okura
KYOTO

宿泊約款

（適用範囲）

- 第1条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

（宿泊契約の申し込み）

- 第2条 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
- （1）宿泊者名
 - （2）宿泊日及び到着予定時刻
 - （3）宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - （4）その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

（宿泊契約の成立等）

- 第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期間を指定するに当たり、当ホテルがその旨

を宿泊客に告知した場合に限ります。

（申込金の支払いを要求しないこととする特約）

- 第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要求しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

（宿泊契約締結の拒否）

- 第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- （1）宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
 - （2）満室により客室の余裕がないとき。
 - （3）宿泊しようとする者が伝染性の疾病にかかっていると明らかに認められるとき。
 - （4）宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、官公署等の要請、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - （5）宿泊しようとする者がとばく、その他の違法行為又は風紀を乱す行為をするおそれがあると認められるとき。
 - （6）宿泊しようとする者が泥酔、その他他の利用客に迷惑を及ぼすおそれがあるとき。
 - （7）宿泊しようとする者が明らかに支払能力がないと認められるとき。
 - （8）宿泊しようとする者が挙動不審と認められるとき。
 - （9）宿泊しようとする者が暴力団、暴力団員、暴力団関係団体又は関係者その他の反社会的勢力であるとき。
 - （10）宿泊しようとする者が暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
 - （11）宿泊しようとする者が暴力団員である役員が就任している法人であるとき。
 - （12）宿泊しようとする者が他の利用客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

- （13）宿泊しようとする者が当ホテル若しくは当ホテル従業員に対し、暴力的要求行為を行い、又は合理的範囲を超える負担を要求したとき。
- （14）天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

（宿泊客の契約解除権）

- 第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に記載するところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡しないで宿泊日当日の20：00（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

（当ホテルの契約解除権）

- 第7条 当ホテルは、宿泊客が第1号から第12号のいずれかに該当する場合又は第13号に該当する場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
- （1）伝染性の疾病にかかっていることが判明したとき。
 - （2）法令の規定、官公署等の要請、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - （3）とばく、その他の違法行為又は風紀を乱す行為をしたとき。
 - （4）泥酔又は放歌、けん騒、歌舞、音曲等他の利用客に迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - （5）支払能力がないと認められたとき。
 - （6）不審な挙動をしたとき。

- （7）暴力団、暴力団員、暴力団関係団体又は関係者その他の反社会的勢力であるということが判明したとき。
 - （8）暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるということが判明したとき。
 - （9）暴力団員である役員が就任している法人であるということが判明したとき。
 - （10）第2号から第4号のほか、他の利用客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - （11）当ホテル若しくは当ホテル従業員に対し、暴力的要求行為を行い、又は合理的範囲を超える負担を要求したとき。
 - （12）客室での喫煙、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わなかったとき。
 - （13）天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができなくなったとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

（宿泊の登録）

- 第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- （1）宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - （2）外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - （3）出発日及び出発予定時刻
 - （4）その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

（客室の使用時間）

第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、15：00 から翌日 11：00 までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に記載する追加料金を申し受けます。

- （1）16：00 まで 室料の 30%
- （2）19：00 まで 室料の 50%
- （3）19：00 以降 1 泊分の室料

（利用規則の遵守）

第10条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した規則に従っていただきます。

（営業時間）

第11条 当ホテルの主な施設、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けのパンフレット、各所の掲示等で御案内いたします。

2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には随時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

（料金の支払い）

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に記載するところによります。

2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求したとき、フロントにおいて行っていただけます。

3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になった後、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

（当ホテルの責任）

第13条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2. 当ホテルは、消防機関から防火対象物適合表示制度に基づく表示マークの交付を受け、「適マーク」を掲出して防火管理に努めておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館責任賠償保険に加入しております。

（契約した客室の提供ができないときの取扱い）

第14条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による宿泊施設をあっ旋するものとします。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

（寄託物等の取扱い）

第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。

2. 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

（宿泊客の手荷物又は携帯品の保管）

第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

2. 宿泊客がチェックアウトした後、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。

3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

（駐車場の責任）

第17条 宿泊客が当ホテルの駐車場を御利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

（宿泊客の責任）

第18条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

（免責事項）

第19条 当ホテル内からの通信サービスのご利用にあたりましては、お客様ご自身の責任にて行うものとします。通信サービスのご利用中にシステム障害その他の理由により通信サービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。また、通信サービスのご利用により、当ホテルおよび第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

（支配する言語）

第20条 この約款は日本語と英語で作成されますが、その文の間に不一致または相違があるときは、すべて日本文によるものとします。

別表第1 宿泊料金等の内訳（第2条第1項及び第12条第1項関係）

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	① 基本宿泊料〔室料（又は室料+朝食料）〕 ② サービス料〔① × 15%〕
	追加料金	③ 飲食料〔又は追加飲食（朝食以外の飲食料）〕及びその他の利用料金 ④ サービス料〔③ × 15%〕
	税金	消費税・宿泊税

（注）税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

別表第2 違約金（第6条第2項関係）

契約申込人数	契約解除の通知を受けた日	不泊	当日	前日	9日前	20日前
		一般	14名まで	100%	80%	20%
団体	15～99名まで	100%	80%	20%	10%	
	100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

（注）
1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を収受します。
3. 団体客(15名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合には切り上げる）に当たる人数については、違約金はいただきません。
4. 双方の合意の下で、違約金の設定について別途合意した場合は、本約款6条に記載の違約金が適用されず、別途合意した違約金が優先的に適用されます。

Terms and conditions for accommodation contracts

(Scope of application)

Article 1-1.

Contracts for accommodation and related agreements to be entered into between this hotel and the guest to be accommodated shall be subject to these terms and conditions.

Any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.

Article 1-2.

Should the hotel enter into a special contract with the guest, insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, the special contract shall take precedence over the provisions of these terms and conditions.

(Application for accommodation contracts)

Article 2-1.

A guest who intends to make an application for an accommodation contract with the hotel shall notify the hotel of the following particulars:

- (1) Name of the guest(s);
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
- (3) Accommodation charges (based, in principle, on the basic accommodation charges listed in the attached table no.1); and
- (4) Other particulars deemed necessary by the hotel.

Article 2-2.

Should a guest request, during his or her stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of preceding paragraph, it shall be regarded as an application for a new accommodation contract at the time such request is made.

(Conclusion of accommodation contracts, etc.)

Article 3-1.

A contract for accommodation shall be deemed to have been concluded when the hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding article. However, the same shall not apply where it has been proved that the hotel has not accepted the application.

Article 3-2.

When a contract for accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding paragraph, the guest is requested to pay an accommodation deposit, fixed by the hotel, within the limits of basic accommodation charges covering the guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the hotel.

Article 3-3.

The deposit shall be first used for the total accommodation charges to be paid by the guest, then secondly for the cancellation charges under article 6 and thirdly for the reparations under article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the accommodation charges as stated in article 12.

Article 3-4.

When the guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in paragraph 2, the hotel shall treat the accommodation contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the guest is thus informed by the hotel when the period of payment of the deposit is specified.

(Special contracts requiring no accommodation deposit)

Article 4-1.

Notwithstanding the provisions of paragraph 2 of the preceding article, the hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the contract has been concluded as stipulated in the same paragraph.

Article 4-2.

Should the hotel not have requested the payment of a deposit as stipulated in paragraph 2 of the preceding article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an accommodation contract has been accepted, it shall be treated as if the hotel has accepted a special contract as prescribed in the preceding paragraph.

(Refusal to conclude an accommodation agreement)

Article 5-1.

The hotel may refuse to conclude an accommodation agreement if any of the following applies:

- (1) The request for accommodation is not based on the terms of this agreement.
- (2) The hotel is fully occupied and so cannot comply with the request for accommodation.
- (3) The person requesting accommodation is clearly recognized to be infected with an infectious disease.
- (4) When a person who will stay at the Hotel is recognized to likely commit and act contrary to the provisions of laws and regulations, requests from public offices, public order, or good morals.
- (5) The hotel has sufficient reason to suspect that the person requesting accommodation may use said accommodation for gambling or other illegal purpose, or otherwise to violate public morals.
- (6) The person requesting accommodation is extremely intoxicated or is otherwise likely to disturb other guests.
- (7) The person requesting accommodation is clearly recognized to be unable to pay for the accommodation.
- (8) The person requesting accommodation is behaving suspiciously.
- (9) The person requesting accommodation is or belongs to an antisocial force, such as an organized crime group or an organization affiliated with an organized crime group.
- (10) The person requesting accommodation is or belongs to a corporation managed or supported by an organized crime group or its member(s).
- (11) The person requesting accommodation is or belongs to a corporation of which one or more directors is a member of an organized crime group.
- (12) The person requesting accommodation has caused significant disturbance, in speech or conduct, to other guests.
- (13) The person requesting accommodation has used violence to make a demand on the hotel or its employee(s), or has otherwise made a demand beyond the scope of reasonably acceptable burden on the hotel or its employee(s).
- (14) The hotel is unable to accommodate the person requesting accommodation due to disaster, failure of facilities or other unavoidable reason.

(Right to cancel accommodation contracts by the guest)

Article 6-1.

The guest is entitled to cancel the accommodation contract by so notifying the hotel.

Article 6-2.

Should the guest cancel the accommodation contract in whole or in part due to causes for which the guest is liable (except in the case when the hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in paragraph 2 of article 3 and the guest has cancelled before payment), the guest shall pay cancellation charges as listed in the table no.2. However, should a special contract, as prescribed in paragraph 1 of article 4 be in effect, the same shall apply only when the guest is informed of the obligation for payment of the cancellation charges in case of cancellation by the guest.

Article 6-3.

In the case when the guest does not appear by 8p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the hotel has been notified) without an advance notice, the hotel may regard the accommodation contract as being cancelled by the guest.

(The hotel's right of cancellation of the agreement)

Article 7-1.

The hotel may cancel an accommodation contract if any of the following apply:

- (1) The guest in question is found to be infected with an infectious disease.
- (2) When there is a possibility of an act violating the provisions of laws and ordinances, requests from public offices, etc., public order or good morals.
- (3) The guest in question has used the accommodation for gambling or other illegal purpose, or otherwise to violate public morals.
- (4) The guest in question is extremely intoxicated, dancing or singing loudly, playing loud music or otherwise disturbing other guests.
- (5) The guest in question is recognized to be unable to pay.
- (6) The guest in question is behaving suspiciously.
- (7) The guest in question is found to be or belong to an antisocial force, such as an organized crime group or an organization affiliated with an organized crime group.
- (8) The guest in question is found to be or belong to a corporation managed or supported by an organized crime group or its member(s).
- (9) The guest in question is or belongs to a corporation of which one or more directors is a member of an organized crime group.
- (10) The guest in question has caused significant disturbance to other guests, as described in Item (2) through (4) above, or otherwise.
- (11) The guest in question has used violence to make a demand on the hotel or its employee(s), or has otherwise made a demand beyond the scope of reasonably acceptable burden on the hotel or its employee(s).
- (12) When a guest does not comply with the smoking prohibitions in guest rooms, tampering with fire safety equipment, etc., or other rules of use stipulated by the Hotel (limited to those necessary for fire prevention).

- (13) The hotel is unable to continue to accommodate the guest in question due to disaster, failure of facilities or other unavoidable reason.

Article 7-2.

In the event that the hotel cancels the accommodation agreement based on any of the above items, the guest in question shall not be liable for payment for any accommodation services not yet delivered.

(Registration)

Article 8-1.

The guest shall register the following particulars at the front desk of the hotel on the day of accommodation:

- (1) Name, age, sex, address and occupation.
- (2) Except Japanese, nationality, passport number, port and date of entry in to Japan.
- (3) Date and estimated time of departure.
- (4) Other particulars deemed necessary by the hotel.

Article 8-2.

Should the guest intend to pay his/or her accommodation charges prescribed in article 12 by any means other than Japanese currency, such as coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding paragraph.

(Occupancy hours of guestrooms)

Article 9-1.

The guest is entitled to occupy the contracted guestroom of the hotel from 3p.m. to 11a.m. of the next day. However, in the case when the guest is accommodated continuously, the guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

Article 9-2.

The hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding paragraph, permit the guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:

- (1) Up to 4p.m. 30% of the room charge
- (2) Up to 7p.m. 50% of the room charge
- (3) After 7p.m. room charge in full

(Observance of use regulations)

Article 10.

The guest shall observe the rules and regulations established by the hotel, which are posted within the premises of the hotel.

(Business hours)

Article 11-1.

The business hours of the main facilities, etc. of the hotel and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place and others.

Article 11-2.

The business hours specified in the preceding paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes. In such a case, the guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of accommodation charges)

Article 12-1.

The breakdown and method of calculation of the accommodation charges, etc. that the guest shall pay is as listed in the attached table no.1.

Article 12-2.

Accommodation charges, etc. as stated in the preceding paragraph, shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as coupons or credit cards recognized by the hotel at the front desk at the time of the departure of the guest or upon request by the hotel.

Article 12-3.

Accommodation charges shall be paid even if the guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him/or her by the hotel which are at his/or her disposal.

(Responsibilities of the hotel)

Article 13-1.

The hotel is responsible for remuneration of damages to guests if a guest suffers any damage resulting from the hotel's performance of duties related to the accommodation agreement, or from any failure of the hotel to perform said duties. The hotel shall not be held responsible for any damage to guests that is not the fault of the hotel.

Article 13-2.

The hotel has received "Fire Safety Certification Marks", under a system of regular inspections and reports regarding facilities to which fire prevention regulations apply. The hotel displays "Fire Safety Certification Marks" and makes every effort to conduct effective fire prevention management. However, the hotel subscribes to liability insurance, which may be claimed upon in the unlikely event of a fire or other accident.

(Handling when unable to provide contracted rooms)

Article 14-1.

The hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the guest insofar as practicable with the consent of the guest.

Article 14-2.

When arrangement for other accommodation cannot be made, notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, the hotel shall pay the guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the hotel cannot provide accommodation due to causes for which the hotel is not liable, the hotel shall not be liable to compensate the guest.

(Handling of deposited articles)

Article 15-1.

The hotel shall compensate the guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, for cash and valuables, when the hotel has requested the guest to report its kind and value but the guest has failed to do so, the hotel shall compensate the guest within the limits of 150,000 yen.

Article 15-2.

The hotel shall compensate the guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the hotel by the guest but are not deposited at the front desk. However, for articles of which the kind and value have not been reported in advance by the guest, the hotel shall compensate the guest within the limits of 150,000 yen.

(Custody of baggage and/or belongings of the guest)

Article 16-1.

When the baggage of a guest is brought into the hotel before his/ or her arrival, the hotel shall be liable to keep it only should request have been accepted by the hotel. The baggage shall be handed over to the guest at the front desk at the time of his/or her check-in.

Article 16-2.

When the baggage or belongings of the guest are found left after his/or her check-out, and the ownership of the article is confirmed, the hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the hotel shall keep the article for 7 days, including the day it is found, and after this period the hotel shall turn it over to the nearest police station.

Article 16-3.

The hotel's liability in regard to the custody of a guest's baggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of paragraph 1 of the preceding article in the case of paragraph 1, and with the provisions of paragraph 2 of the same article in the case of paragraph 2.

(Liability in regard to parking)

Article 17.

The hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the guest when the guest utilizes the parking lot within the premises of the hotel, as it shall be regarded that the hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the hotel or not. However, the hotel shall compensate the guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the hotel in regard to the management of the parking lot.

(Liability of the guest)

Article 18.

The guest shall compensate the hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the guest.

(Disclaimer)

Article 19.

The use of the communication services from within the Hotel shall be at the user's own risk. The Hotel shall not be liable for any loss or damage incurred by the user due to unforeseen interruption of communication services, system failure, or any other reasons that results in communication loss. In the event that the Hotel or any third party suffers damage as a result of the use of the communication services, the user responsible shall be liable for compensation of damages.

(Language)

Article 20.

These terms and conditions are written in both Japanese and English, but the Japanese text shall prevail in the event of any discrepancy or differences between the two.

Attached table of charges 1

Table of charges for lodging and miscellaneous expenses.

[Regarding item 1 of article 2 and item 1 of article 12]

Total amount to be paid by a registered guest	
Accommodation	
(1) Basic accommodation charges (room charge or room charge + breakfast charge [when included in the basic room charge])	
(2) Service charge [(1) × 15%]	
Charges / Additional	
(3) Food and beverage charges (excluding meals included in the basic accommodation charges) and other relevant charges.	
(4) Service charge [(3) × 15%]	
Charges / Taxes	
Consumption tax	Accommodation tax

Notes:

In the event the relevant tax laws are modified, the latest modified version shall be applicable to all charges listed above.

Attached table no.2

Cancellation charge for hotels (ref. paragraph 2 of article 6)

Date when cancellation of contract is notified	Contracted number of guests	Group		
	Individuals	1 to 14	15 to 99	100 and more
No show	100%	100%	100%	100%
Accommodation day	80%	80%	80%	100%
1 day prior to accommodation day	20%	20%	20%	80%
9 days prior to accommodation day		10%	20%	
20 days prior to accommodation day				10%

Remarks:

- The percentage signifies the rate of cancellation charge to the basic accommodation charges.
- When the number of days contracted is shortened, a cancellation for the first day shall be paid by the guest regardless of the number of days shortened.
- When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy (when accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions counted as whole numbers.
- When this hotel and the guest agree to another way about configuration of cancellation charge under the agreement of both parties, cancellation charge in article 6 is not to be adapted, cancellation charge that both agree is preferentially to be adapted.

ホテル利用規則

当ホテルではお客様に安全かつ快適に御滞在いただくため、宿泊約款第10条に基づき、次のとおり利用規則を定めておりますので、御協力くださいますようお願い申し上げます。この規則を遵守いただけない場合は宿泊約款第7条により宿泊又はホテル内諸施設の御利用をお断り申し上げ、かつ責任をおとりいただくこともございますので特に御留意くださいますようお願い申し上げます。

火災予防上お守りいただきたい事項

- 廊下及び客室内では暖房用、炊事用などの火器及びアイロン等を持ち込み御使用なさらないでください。
- ベッドの上での喫煙など火災の原因となるような行為をなさらないでください。
- その他火災の原因となるような行為をなさらないでください。

保安上お守りいただきたい事項

- 御滞在中お部屋から出られる時は施錠を御確認ください。
- 御在室中や特に御就寝の時はドアガードをお掛けください。来訪者があった時は不用意に開扉なさらず、御確認ください。万一不審者と思われる場合は直ちにフロント（ダイヤルA）へ御連絡ください。
- 御訪問客と客室内での御面会は御遠慮ください。

貴重品、お預り品のお取扱いについて

- 御滞在中の現金、貴重品はフロントにお預けくださいますようお願いいたします。上記手続きをおとりならず、現金、貴重品の滅失、紛失、毀損、盗難等によって生じた損害については賠償いたしかねる場合がございますので御承知ください。お預かり物の保管期間は、原則として下記のとおりお取扱いさせていただきます。
 - クロークルームのお預かりもの ……… 御滞在期間中
 - お忘れもの、遺失物 ……… 法令に基づく取り扱い

お支払いについて

- ホテル内のレストラン、バーなどを御署名で御利用になる場合は必ず客室の鍵又は宿泊カードを御提示ください。
- 都合により到着時にお預かり金を申し受ける場合がございますので御了承ください。
- ホテル内売店、アーケードでのお買物代、航空券、列車、観光バスなどの切符代、タクシー代、郵便切手代、お荷物送料などのお立替はお断りいたします。
- 小切手でのお支払いには応じかねますので御了承ください。お勘定は、3日毎にお支払ください。ただし、3日以内で、5万円を超えた場合、ホテルから請求があった場合はお支払いいただきます。
- 御宿泊日数を延長なさる場合は、それまでのお勘定をお支払いください。

おやめいただきたい行為

- ホテル内に他のお客様の迷惑になるようなものをお持ち込みにならないでください。
 - 犬（身体障害者補助犬及びこれに準ずる犬を除く。）、猫、小鳥、その他の動物ペット類全般
 - 発火又は引火しやすい火薬や揮発油類及び危険性のある製品
 - 悪臭を発するもの
 - 許可証のない鉄砲、刀剣類
 - 著しく多量な物品
 - その他法令で所持を禁じられているもの
- ホテル内で、とばくや風紀、治安を乱すような行為、高声、放歌、楽器演奏行為など、他のお客様に迷惑になったり嫌悪感を与えるような行為は、なさらないでください。
- 宿泊登録者以外の客室の御使用は堅くお断りいたします。
- 客室やロビーでの営業行為、また事務所など、宿泊以外の目的で御使用にならないでください。
- ホテル内で広告、宣伝物を配布、貼付したり、物品の販売等をなさらないでください。
- ホテル内の施設、備品を所定の場所、用途以外に、また現状を著しく変更して御利用にならないでください。
- ホテル内及び敷地内で、許可なく商業目的及び他のお客様に迷惑がかかるような写真撮影などはなさらないでください。
- ホテル内の外観を損なうようなものをバルコニーや窓にかけたり、窓側に陳列することはなさらないでください。
- 廊下やロビーなどに所持品を放置することはなさらないでください。
- ホテル外から飲食物などの御注文・お持込みはなさらないでください。
- ゆかた、スリッパで廊下、ロビー、レストラン、バーなど客室以外の諸施設にお出かけにならないでください。
- 緊急事態、あるいはやむを得ない事情が発生しない限り、非常階段、屋上、塔屋、機械室などお客様用以外の施設には立ち入らないでください。
- 未成年者のみの御宿泊は、特に保護者の許可がない限り、お断りいたします。
- 不可抗力以外の事由により、建造物、備品、その他ホテルの物品を損傷、汚染あるいは紛失させた場合、相当額を弁償していただく場合がございます。

Regulations

To ensure your safety and comfort, and in accordance with article 10 of the hotel law, we have established the following rules with which we hope you will cooperate. As is stipulated under article 7 of the hotel law, guests may be held responsible for the results of their actions or may be asked to leave if they break these rules.

Fire safety

- Appliances such as portable heaters or stoves are prohibited within the hotel.
- Smoking in bed or any other place where there is a fire hazard is prohibited.
- Please avoid any action which might cause an accidental fire.

Room security

- When you leave your room, please check the door to see that it locked properly.
- When you are in your room, please make sure the door is locked and the doorguard is in place. Please be particularly careful of this before you go to sleep. Should a visitor knock on your door, please ascertain the identity of the person who is there before opening. If you are bothered in any way, or worried about someone who is at the door, please dial A for assistance.
- Please avoid bringing visitors to your room.

Valuables and Items deposited with the hotel.

- During your stay, please leave money or valuables with the front desk. The hotel will not hold responsibility for theft or loss of money or valuables not deposited with the front desk.
- Items left behind in the hotel will be dealt with according to the law.

Payment of bills

- Please show your room key or identification card to hotel personnel when signing chits or bills for restaurants, bars, and other services in the hotel.
- A deposit may be required at the time you check into the hotel.
- The hotel assumes absolutely no responsibility for such incidental expenses as shopping charges, tickets, taxi fares, or postage.
- The payment by check is not accepted. The payment should be made every three days of your stay. You may need to pay within three days when the amount exceeds 50,000 yen or the hotel claims.
- If you decide to extend your stay, please pay all bills due.